

海城中学校・高等学校

昨年4月、「グローバル教育部」が発足
英語力強化、海外留学支援を推進するとともに
リベラルアーツ教育の充実にも力を注ぐ

時代が求める「新しい学力」「新しい人間力」の育成を掲げ、さまざまな斬新な教育プログラムを実践している海城中学校。昨年4月には「グローバル教育部」が発足し、これまでの教育をさらに発展させた教育システムが構築されています。同校の教育の特色と今後の方向性について、中田大成教頭にインタビューしました。



海城中学校・高等学校
教頭 中田 大成先生

異質な個性と対話し、
協働できる人間力が重要に

「新しい学力」「新しい人間力」にはどのような思いが込められていますか。
中田 「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神を、現代に具現化すると、どのような人材を育成すればいいのか。本校では、新しい学力と新しい人間力のバランスがとれていることが、それが、有為な人材であると考えました。

「新しい人間力」とはどのような意味ですか。

中田 現代社会はヒト、モノ、カネ、情報がグローバルに行き交っています。一方で、成熟社会を迎えた日本では、人々の価値観が急激に多様化しています。つまり、国内外ともに異質な者同士がお互いの違いを理解し、尊重し、共生しなければならぬ時代になっているのです。この状況はマイナス面だけではありません。異質な個性がお互いに強みを引き出し合うことにより、シナジー効果が生まれ、クリエイティブな成果やイノベーションの創出が期待できます。それを実現するために、異質な者と対話的コミュニケーションを図り、コラボレート(協働)できる力を高めようというのが「新しい人間力」の育成です。



高尾山にある専用施設を使って行われるPAの授業。みんなで協力して課題をこなし、コミュニケーション力、協働力を育成する

「新しい学力」「新しい人間力」を高めるために、画期的なプログラムが導入されていますね。
中田 体験型の学びが豊富なのが特徴です。たとえば、「プロジェクトアドベンチャー」では、10名程度の生徒でグループを編成し、与えられたテーマを協力しながら解決したり、信頼関係に基づいてさまざまなことにチャレンジしたりといったアクティビティを取り入れています。「ドラマエデュケーション」では、たとえば一人の大人から聞き書きをし、それに基づいて班員皆でシナリオを書き、ドラマとして演じます。二連の作業を通じて生徒たちは人と人との異質性や、イ

プロジェクトアドベンチャー
など体験型の学びが豊富

るのは「自ら課題を設定する力」「情報を収集・分析し、深く考える力」「絶対的な真理がないかもしれない中で、価値を選択する力」「選択したものを周囲に分かりやすく表現する力」です。それを「新しい学力」と位置づけています。

「新しい学力」「新しい人間力」にはどのような思いが込められていますか。
中田 「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神を、現代に具現化すると、どのような人材を育成すればいいのか。本校では、新しい学力と新しい人間力のバランスがとれていることが、それが、有為な人材であると考えました。



演劇的手法を用いて人間関係力を育むDEは文科省の「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」に採択されている。

新しい価値を創造し
社会に貢献する人材を育成

「新しい学力」「新しい人間力」にはどのような思いが込められていますか。
中田 「国家・社会に有為な人材を育成する」という建学の精神を、現代に具現化すると、どのような人材を育成すればいいのか。本校では、新しい学力と新しい人間力のバランスがとれていることが、それが、有為な人材であると考えました。



中3で取り組む卒業論文。いずれも綿密な取材と深い考察に支えられた力作ばかり。章・節仕立て、末尾には参考文献等も付く

中田 本校では、2011年度から、学校新入生に30名の帰国生を受け入れることにしました。海外で異文化を体験した生徒と共に学ぶことにより、その体験を共有し、視野を広げることを目指しています。「グローバル教育部」設置の第1の目的は、この帰国生たちが学校生活に早く馴染めるようにさまざまな支援を行うことです。また、帰国生の中には、きわめて高い英語力を備えているケースもあるので、その保持・増進を図る特別講習も実施しています。同時に、一般生徒の英語学習への動機づけも図ります。中学校の早い時期に、「英語漬け」の環境を設定して、生きた英語に触れる機会を提供したいと考えています。その試みとして今年度は、中2の希望者対象に、夏休み中2泊3日の英語研修を実施します。

「海外研修も活発になるのでしょうか。」
中田 現在、中3の春休みと高1の夏休みに、各30名で、海外語学研修を実施しています。今後は、英語学習だけでなく、海外の企業や一流大学を訪問するなどの研修内容の充実・多様化と機会の増加を図る予定です。より意欲のある生徒に対しては、在学中、1年間の長期留学を可能にする単位認定制度もすでに整備しました。
また、先ほど申し上げた総合学習を通して、世界観が広がった生徒が、海外の大学への進学を希望するケースも増えています。たとえば、中学校の卒業で国連の難民高等弁務官に取材し、国連職員になりたいという夢を持った生徒は、アメリカの大学に進学しました。昨年度も、哲学を極めたいと、ロンドン大学に進む生徒がいました。これらも同様の希望を持つ生徒が増加する可能性が高く、そうした生徒に対する指導体制(TOEFLの準備、エッセイや提出書類の作成支援など)を確立するのにも、グローバル教育部の役割です。
さらに、リベラルアーツ教育実践のための調査・研究も進めています。
「それは「グローバル」とどのように関係してくるのですか。」
中田 先ほど申し上げた「価値選択」のためには、リベラルアーツの力が不可欠になります。単なる知識ではなく、感性や倫理観、真善美にまつわる教養が身につけなければならない、的確に判断すること、それはできないからです。そこで、本校でより充実したリベラルアーツ教育を推進するために、グローバル教育部で、優れた

School Data
海城中学校・高等学校
●所在地 〒169-0072 東京都新宿区大久保3-6-1
JR山手線「新大久保」駅から徒歩5分
地下鉄副都心線「西早稲田」駅から徒歩8分
●電話 03-3209-5880
●校長 水谷弘
●創立 1891年
●URL http://www.kaijo.ed.jp

